

あいっこ「親の学び」 学習プログラム

<平成27年度 追加版>

- 6 思春期（小学校高学年・中学生）の子どもの保護者を対象

ケータイ・スマホ どう考える？

テーマ： きまり 自立 （礼儀・マナー 自制心）



子どもが携帯電話やスマ - トフォンを使用する際、安心・安全な使い方ができるようにするための、親の働きかけについて考えてみませんか？

IV-6

ケータイ・スマホ どう考える？

<エピソード 1>

中学校1年生のゆう子さんは、このところ毎日、お母さんに「スマホ買って！買って！」「みんなもっているのに・・・」「私だけ、買ってもらえないなんて、ひどい・・・。」と、しつこくねだっています。そんなゆう子さんに、お母さんはとうとう根負けして、買い与えてしまいました。

スマートフォンや携帯電話をめぐる様々な問題が、毎日のように新聞やテレビで報じられており、お母さんは不安を感じています。



Work

スマートフォンや携帯電話をめぐる様々な問題の中で、あなたが気になることはどんなことですか。

Work

スマートフォンや携帯電話を子どもに持たせる（持たせた）時、子どもとどのような約束をしますか（約束をしていますか）。

資料1

<母から息子へ スマホを使うための18のルール>

※アメリカのマサチューセッツ州に住む女性が13歳の息子に「スマホを使うための18のルール」として作成したものです。



- 1、このスマホは母の携帯電話です。私が購入してあなたに貸しています。
- 2、パスワードは、父と母に知らせてください。
- 3、電話が鳴ったら出てください。「もしもし」と礼儀正しく。父や母からの電話は必ず！
- 4、翌日、学校のある日は7：30PM、休日の前の日は9：00PMになったら、スマホは父か母に預けてください。常識的に考えて、迷惑になる時間帯には、電話もメールもしてはいけません。
- 5、スマホを学校に持って行かないこと。人と会っているときはメールではなく、対話でコミュニケーションすること。

～ 略 ～

- 17、スマホばかり見ていないで視線はいつも見上げていてください。鳥の声に耳を傾け、人と会話をしてください。疑問は、検索で解決せず、自分で考えてみるのが大切です。
- 18、あなたはそれでも間違いを犯すでしょう。その時は、スマホを取り上げます。

<エピソード 2>

中学校2年生になる娘は、SNSを利用して多くの友だちと交流しています。

ある日、娘の友だちの親から、娘がある友だちに「ウザイ」「キモイ」「ムカツク、消えろ！」などと悪口を書き込んでいると聞きました。娘を問いただすと、「そうだよ。」と認めました。

※SNS：ソーシャルネットワーキングサービス（コミュニティ型のWebサイト）
：「LINE」「Facebook」などもその一種と定義される。

Work

この後、親としてできることは、どのようなことでしょうか。

Work

下記資料II「ネットトラブルから子どもを守ろう」を見て、子どもをトラブルの被害者にも加害者にもしないために、親にできることは、どのようなことでしょうか。

資料II

ネットトラブルから子どもを守ろう！！

事例A

不正アプリによる個人情報流出

アプリの中には、悪意を持って作られたものが存在する。



事例B

コンピュータウイルス感染

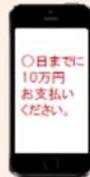
ウイルス感染により、個人情報が盗まれたりする被害が起きています。



事例C

代金請求、詐欺

不適切なサイトにアクセスしてしまい、軽い気持ちで会員登録。後日架空請求を受ける。



事例D

誘い出しによる性的被害、暴力行為

無料通話アプリやSNSなどを通して、見知らぬ人と会ってしまい、被害に遭う。



事例E

ゲーム上での金銭浪費

無料で気軽に始められるゲームが多い反面、ゲーム内でのアイテム購入によって課金が積み重なり、多額の金銭を浪費してしまうことが。



事例F

長時間使用による日常生活への悪影響

無料通話アプリやゲームなどに没頭して、睡眠不足になることも。



IV 小学校高学年・中学生の子どもを持つ保護者を対象

IV-6 ケータイ・スマホ どう考える？

<プログラムのねらい>

- ・スマートフォンや携帯電話を使用する際の、子どもとの約束づくりや子どもへの見守りについて、日常生活を振り返り、見直そうとする意識を高める。
- ・スマートフォンや携帯電話に関するトラブルや危険性について、子どもと一緒に考えていこうとする意識を高める。

時間	進め方	準備
10分	<p>アイスブレイキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間で交流する遊びを行ない、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。 (4～5人のグループをつくる) ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。 	H22 年度版学習プログラムの 2 目次 P2「アイスブレイキング各種」参照
35分	<p>Work</p> <p>エピソード1を読んで、スマートフォンや携帯電話をめぐる諸問題で気になることをグループで話し合う。</p> <p>スマートフォンや携帯電話を子どもに持たせる時、子どもとどのような約束をするかを、各自で考えた後にグループで思いを伝え合う。(既に、持たせている場合は、約束の内容や約束状況を振り返り、見直す場としたい。)</p> <p>【ポイント】</p> <p>ある家庭のルール・ある学校のルール・ある市町村のルールの例を提示することで、各家庭でのルールづくりへの参考とする。「親と子でのルールづくり」において大切なことに気づかせたい。</p> <p>エピソード2を読んで、「想起されるトラブル」「ネットトラブルから、子どもを守るためにできること」をグループで話し合う。</p> <p>【ポイント】</p> <p>ネットトラブルから子どもを守るために必要なことや具体的な対応策等を参考資料として紹介したい。</p>	<p>エピソード メモ用紙配布</p> <p>ルールの例を掲示する。</p> <p>ホワイトボードや大きな紙に、発表された意見を並べ、様々な考え方を共有する。</p> <p>対応策の参考資料</p>
15分	<p>グループ発表、まとめ、振り返りシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。 ・全体を通して、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。 	振り返りシート